

事業報告

令和元年度

【平成 31 年4月1日から令和 2 年3月31日まで】

学校法人 高槻双葉学園

学校法人 高槻双葉学園

1. 法人の概要

①名称：学校法人高槻双葉学園【昭和42年3月31日法人設立】

②住所等：大阪府高槻市宮野町21-18

電話番号 072-675-0250

ファックス 072-675-9085

ホームページ <http://2.takatukifutaba.ed.jp/>

メールアドレス futaba@gaia.eonet.ne.jp

③設置する施設名

◎幼稚園型認定こども園 高槻双葉幼稚園

*認可定員：420名

*利用定員：330名【1号認定270名、2号認定60名】

◎キッズルームふたば（小規模保育事業）

*利用定員：19名【0歳児：3名、1歳児：8名、2歳児：8名】

④連携提携施設

*キッズルームふたば（連携受入枠8名（3歳児））

*のぼら保育園たかつき（連携受入枠7名（3歳児））

⑤理事長氏名：岡部 圭二

*理事6人、監事2人、評議員17人（理事は重任）

・定例理事会 年5回開催（5月・7月・9月・1月・3月）

・定例評議員会 年5回開催（5月・7月・9月・1月・3月）

⑥学校評価委員会：15名（評議員9名、保護者6名）

*委員会 年2回開催（9月・3月（3月はコロナウイルスのため書面評価））

⑦高槻双葉幼稚園の教職員の状況【H.31.4.1現在】

園長1名 教頭1名 主幹教諭2名 保育教諭23名 事務長1名 事務員2名

保育補助7名 給食管理栄養士1名 給食調理員5名 【合計：43名】

【別途、バス運行业務委託（運転手2名）】

- ⑧ キッズルームふたば(小規模保育事業)の教職員の状況【H. 31. 4. 1現在】
管理者1名(保育士) 主任1名 保育士10名 給食管理栄養士1名
給食調理員2名 【合計:15名】
- ⑨ にこにこクラブ(2歳児)(子育て支援事業) 担当保育士2名 【合計:2名】
- ⑩ 園医(2名) 内科医(ちばクリニック) 歯科医(手島歯科医院)

2. 高槻双葉幼稚園事業報告(令和元年度)

⑩高槻双葉幼稚園教育方針

- *調和のとれた人間性を育てます。
- *心身共に健康な子どもの育成を目指します。
- *知性と情緒豊かな感動を覚える子どもに育てます。

高槻双葉幼稚園では、園庭を大きくゾーン分けし、ボール遊びやかけっこ等の遊びのできるグラウンドのゾーンと園児の冒険心をくすぐり、年齢や力量に応じてトライできるアスレチック遊具や木登りのできる大きな木を有する山のゾーンがあり、日々、色々な遊びを園児が自分たちで考えることにより、発展的、創造的な思考力と体力を育成する。絶えず先生たちが保育環境に気を配りながら、ひとりひとりの子どもに目を向け、日々、緩やかにつながりのある保育に努めた。

また、子どもたちの健やかな成長を保障するためには、園と家庭が信頼関係を構築し、両輪となり同じ方向を向いて取り組んでいくことが必要となる。当園では特に保護者の力を引き出すため、保護者への園の教育活動についての理解を深めるため教育説明会を9月に開催し、3月には当該年度の教育活動について保護者に報告を行うとともに子育てに関する情報提供や保護者の保育参加など多方面にわたり活動を展開する。また、保護者のサークル活動として「ふたばパパスイッチ(おやじの会)」、「行事サークル」、「クラフトサークル」、「絵本サークル」「幼稚園まつりボランティア」があり、保護者の自己実現につながる活動にも力を入れて取り組んだ。

子どもの育ちを通して、先生、保護者も日々育ちあえる園を目指して活動を行った。「自己評価とその公表」については、「本年度の重点項目」の取り組み並びに「学校関係者評価委員会による評価」についても積極的に取り組んだ。

*昨年度（平成 30 年度）自己評価重点項目

1. 教育課程の見直しについて
2. 研修・研究の充実について（園内研修・研究発表等）
3. 子育て支援について

*本年度（平成 31 年度）自己評価重点項目

1. 教育課程の見直しについて
2. 研修・研究の充実について（園内研修・研究発表・公開保育）
3. 子育て支援・親育ち支援の充実について

⑪学年、定員、実員（内訳）学級数

*高槻双葉幼稚園（平成 31 年 4 月 1 日現在）

学 年	認可定員	認可学級数	利用定員	実 員	実学級数
3 歳児	140 名	6 クラス	1 号 90 名 2 号 20 名	1 号 82 名 2 号 20 名 (102 名)	4 クラス
4 歳児	140 名	4 クラス	1 号 90 名 2 号 20 名	1 号 99 名 2 号 20 名 (119 名)	4 クラス
5 歳児	140 名	4 クラス	1 号 90 名 2 号 20 名	1 号 87 名 2 号 20 名 (107 名)	4 クラス
合 計	420 名	14 クラス	1 号 270 名 2 号 60 名 (330 名)	1 号 268 名 2 号 60 名 (328 名)	12 クラス

⑫教育時間

- 月～金曜日：午前 9 時～午後 2 時 水曜日：午前 9 時～12 時（1 号認定児）
- 土曜日：休園
- 月・火・木・金曜日、完全給食（月 1 回程度弁当あり）

⑬保育時間

- 月～土曜日：午前 7 時 30 分～午後 6 時 30 分（2 号標準時間認定児）
- 午前 7 時 30 分～午後 3 時 30 分（2 号短時間認定児（A パターン））
- 午前 8 時 30 分～午後 4 時 30 分（2 号短時間認定児（B パターン））

⑭保育料及び諸経費

○保育料

- ・基本負担額（月額）：所得に応じて市町村が決定
- ・特定負担額（月額）：8,000 円（1 号認定児）（年長児：6,000 円）
10,000 円（2 号認定児）（年長児：8,000 円）

○給食費： 61,200 円/年（1 ヶ月 5,100 円×12 ヶ月）（毎月分納）【1 号児】

○主食費：（4 月～9 月）12,600 円/半年（1 ヶ月 2,100 円×6 ヶ月）（毎月分納）【2 号児】
給食費：（10 月～3 月）39,600 円/半年（1 ヶ月 6,600 円×6 ヶ月）（毎月分納）【2 号児】

○園バス維持費： 48,000 円/年（1 ヶ月 4,000 円×12 ヶ月）（半期毎に分納）

○保護者会費： 6,000 円/年（1 ヶ月 500 円×12 ヶ月）【双葉会】

⑮入園時の費用

- 願 書 代： 800円（優先対象者：900円）
- 検 定 料： 6,000円（優先対象者・にこにこクラブ：3,000円）
- 入園準備金：40,000円
- 施 設 費：20,000円

⑯預かり保育（*1号認定児及び2号短時間認定児の延長預かり）

- 月・火・木・金曜日：午後2時～午後5時30分迄（1号認定A500円、B700円）
- 水曜日：11時30分～午後5時30分迄（*昼食持参）（1号認定A800円、B1,000円）
- 土曜日：1号認定Bの就労者（土曜日就労証明必要）（2,000円）
- 早 朝：早朝延長預かり保育（月～土曜日）：
 - *早朝：午前7時30分～午前8時30分
 - ・利用料：7:30～8:00（300円）、8:00～8:30（200円）
 - *延長：午後5時30分～午後6時30分
 - ・利用料：17:30～18:00（200円）、18:00～18:30（300円）

○長期休業中の預かり保育あり（夏・冬・春）

【1号認定A】午前8時30分～午後5時30分まで（700円～1,200円）

☆早朝（7:30～8:00（300円）8:00～8:30（200円））

☆延長（17:30～18:00（200円）18:00～18:30（300円））は別途徴収

（*早朝：午前7時30分～*延長：午後6時30分迄）

【1号認定B】午前8時30分～午後5時30分（900円～1,400円）

☆早朝（7:30～8:00（300円）8:00～8:30（200円））

☆延長（17:30～18:00（200円）18:00～18:30（300円））は別途徴収

（*早朝：午前7時30分～*延長：午後6時30分迄）

⑰行 事

- 4月/入園式・進級登園日（保護者同伴）、始業式、身体測定、双葉会予算総会&子育て支援講演会、キンダーカウンセリング、給食開始、クラス記念写真撮影、保育参加説明会、交通安全指導、避難訓練（地震）
- 5月/体育・英語・音楽指導開始（全学年）、遠足（全学年）、保育参観&保護者交流会（年長）、内科検診、避難訓練（不審者）、誕生会（4月・5月生）、視力検査、尿検査、キンダーカウンセリング、園庭開放・ピクニック
- 6月/体重測定、プール開き、歯磨き練習、避難訓練（火災）、歯科検診、眼科検診、体育参観&保護者交流会（年中）、音楽参観（年長）、キンダーカウンセリング、園庭開放・ピクニック、保育参観、保護者交流会、給食参観（年少）
- 7月/七夕会、誕生会（6月・7月）、避難訓練（地震）、個人懇談会、交通安全指導、キンダーカウンセリング、1年生の集い（1年生）、園庭開放・ピクニック、終業式

- 8月/夏期保育、キンダーカウンセリング、避難訓練（地震）（キッズ・フレンズ・ホームクラスのみ）
- 9月/始業式、誕生会（8月・9月）、英語参観（年少）、避難訓練（水害）、身体測定、願書交付、入園対象者説明会（1号・2号共通）、キンダーカウンセリング、園庭開放・ピクニック、教育説明会
- 10月/運動会、遠足（全学年）交通安全指導、卒園記念写真撮影（年長）、幼稚園まつり、願書受付・入園面接・手続日（1号、2号併願）、キンダーカウンセリング、英語参観（年中）、園庭開放・ピクニック、避難訓練（不審者）
- 11月/体重測定、誕生会（10月・11月）、避難訓練（火災）、創立記念日、英語参観（年長）キンダーカウンセリング、園庭開放・ピクニック
- 12月/生活発表会、クリスマス会、避難訓練（地震・バス）、キンダーカウンセリング、園庭開放、終業式
- 1月/始業式、身体測定、避難訓練（地震、津波）、誕生会（12月・1月）、園庭開放、キンダーカウンセリング、新入園児用品販売（1号）
- 2月/アートウィーク、節分豆まき、テーブルマナー（年長）、個人懇談会、体重測定、お別れ交流会（全学年）、交通安全指導、避難訓練（不審者）、キンダーカウンセリング、園庭開放
- 3月/卒園式 【3月の他行事は新型コロナウイルスのため休園措置で実施できず】

⑱正課指導（全学年）

- * 体育指導 年額：1,215,600円（税込）（(株)エルステップス）
- * 英語指導 年額：1,381,030円（税込）（ECC）
- * 音楽指導 年額：931,000円（税込）（生涯音楽アカデミー）

⑲課外保育

- * 体育指導：毎週月・木曜日（年長・年中・卒園児）
 - ・施設賃貸料：1名につき1,250円
- * 英語指導：毎週火・金曜日（年中・年長・卒園児）
 - ・施設賃貸料：1名につき1,285円

⑳キンダーカウンセラー事業（月1回）

- * キンダーカウンセラー（臨床心理士）（月1回）年額：531,168円（税込）
（*3月コロナのため開催できず）

21. 子育て支援事業関係（H.31年4月1日現在）

- * 子育て相談（随時午前9時～17時）
- * にこにこクラブ（2歳児（5月～10月まで親子登園）週1回）【平成31年度：46名】
 - ・登録料：5,000円
 - ・保育料：前期 15,000円（5月～10月）
後期 13,000円（11月～3月）
- * 園庭開放（年間14回開催）・・・0才～2才親子対象（電話予約にて申込み（無料））

- *園庭ピクニック（年 10 回開催） *子育て支援講演会（年 1 回 4 月）
- *たねっ子クラブ（開催）・・・1～2 歳児親子対象（長男・長女のみ）（無料）

22. 地域交流事業

- *ふたふうマーケット（年間 2 回開催）（5 月・11 月・3 月（3 月はコロナウイルスのため中止））

23. 施設・設備関係

- *スクールバス（ぞう号）入替え購入（4 月）（6, 830, 000 円）
- *D 棟屋上床張り替え工事（4 月）（1, 928, 988 円）
- *ホール棟西南壁面補修工事（8 月）（2, 916, 000 円）

24. キッズルームふたば事業報告（平成 31 年度）

- *一人一人の子どもはどの子どもも大切な存在であり、その人格を尊重して保育を行う。
 - *子どもたちが自分を肯定でき、自信を持って生きていける基礎を築いていく。
 - *保育所保育指針に規定されている保育内容を基本原則とし、保育士や友だちから刺激を受けながら、色々な活動を楽しめるようにする。
- 0 歳～2 歳（合計 19 名）の小規模保育事業 A 型として「キッズルームふたば」も開園 5 年目を迎え、更に充実した保育が提供できるよう乳幼児の安全を第一に考え、乳幼児の健全な成長を促すために必要な保育環境を考え、連携施設である高槻双葉幼稚園としっかり連携をとり保育を行った。また、就労している保護者や厳しい家庭環境にある保護者への支援として、子どもの育ちについて保護者理解を深める活動を行い家庭との連携も大切に運営を行った。

*キッズルームふたば園児数内訳（平成 31 年 4 月 1 日現在）

学 年	定 員	職員配置基準	実 員	職員配置
0 歳児	3 名	1 名	3 名	1 名
1 歳児	8 名	3 名	8 名	3 名
2 歳児	8 名		8 名	
フリー保育士		1 名		1 名
合 計	19 名	5 名	19 名	5 名

25. 保育料及び諸経費

- 保 育 料：高槻市が所得に応じて決定（3 号認定児）
- 保護者会費：6, 000 円/年（1 ヶ月 500 円×12 ヶ月）
- 用 品 代：実費徴収

26. 入園時の費用

○事務手数料：5,500円

27. 行事

- 4月 入園式、慣らし保育、身体測定、避難訓練、子育て支援講演会
- 5月 尿検査、検診（内科・歯科）、身体測定、避難訓練、誕生会
保育参観、保護者懇談会
- 6月 身体測定、避難訓練
- 7月 七夕会、プール遊び、身体測定、避難訓練、誕生会
- 8月 プール遊び、身体測定、避難訓練
- 9月 身体測定、避難訓練、誕生会
- 10月 ふれあいあそび会、身体測定、避難訓練
- 11月 内科検診、身体測定、避難訓練、誕生会、高槻双葉学園創立記念日
- 12月 クリスマス会、身体測定、避難訓練
- 1月 身体測定、避難訓練、誕生会、保育参観、保護者懇談会
- 2月 豆まき、身体測定、避難訓練
- 3月 身体測定、避難訓練、卒園式、

28. 学校法人高槻双葉学園長期計画

*園舎及びホール棟の建替え工事による借入金の返済計画

- ①借入先：北おおさか信用金庫（旧：摂津水都信用金庫）
- ②借入金総額：613,000,000円（平成20年3月末）
- ③返済条件：
 - ・返済期間：35年（420回）【2008.4～2043.3】
 - ・返済方法：元金均等返済
 - ・金利：変動金利（信金中央金庫の短期プライムレイトに0.5%上乘せ）
 - ・毎月返済元金：1,450,000円（年額：17,400,000円）
- ④借入金残：400,200,000円（R.2.3時点）
金利：1.275%（H.30.6～）

*施設拡充引当金の確保・・・毎月600,000円の積立金
日本生命保険（施設拡充引当金）

29. 業務委託

- *施設の清掃業務委託（(株)高浄）
 - ・年額 1,521,744円（1年分）（税込）
- *スクールバス運行委託（(株)サンワ運行委託）
 - ・年額 5,310,480円（1年分）（税込）

- *園庭メンテナンス委託（プランテリア（株））
 - ・年額 205,000円（1年分）（税込）
- *遊具点検委託（（株）チャイルド社）
 - ・年額 50,000円（年2回実施）（税込）
- *ダムウエーター保守点検委託（（株）クマリフトコーポレーション）
 - ・年額 110,160円（保守点検年6回、定期検査年1回）（税込）
- *ESシステム（電力及び保安監視）（日本テクノ（株））
 - ・年額 258,000円（税込）
- *園舎メンテナンス委託（（株）橋本工務店）
 - ・年額 528,000円（税込）
- *ガスヒーポン保守契約（大阪ガス（株））
 - ・年額 155,628円（税込）

30. 令和元年度（平成31年度）の学園総括

『高槻双葉幼稚園』は、幼稚園型認定こども園として3年目を迎え、日々の教育・保育について一定の落ち着きが出てきた。

また、本年度10月から施行された「幼児教育・保育の無償化」により、新たに新設された新2号認定（1号認定）を取得する就労家庭が増加しており、預かり保育のニーズが高まってきているが、質の高い保育を提供するための研修や研究の時間を教職員に確保することと配置しなければならない教職員の人数、保育室の問題等、2号認定（60名）の保育に加え、1号認定の預かり保育の定員を増やすことは現状では難しいものがある。

一方、質の高い教育・保育を提供するための研修・研究については、園内研修は勿論、9月にはECEQ@公開保育を行った。公開保育では、多くの外部の参加者から当園教員が悩んでいる保育課題について様々な助言やお褒めの言葉をいただき、今の自分の保育に自信を持つことができ、ステップアップすることができた。

その他にも管理職会議やカリキュラム会議で管理職と各学年リーダーが園の理念や方向性をしっかりと共有し、学年の横と縦を意識した保育を展開することにより、保育に深みが出てきた。

また、危機管理委員会では火災や地震などの自然災害、そして、不審者、Jアラートなど、多岐にわたる避難訓練の実施やそれに基づく各マニュアルの整備、更新など園児の安全を最優先に考えた活動が展開できた。

更に園庭環境チーム、室内環境チームにおいても園児たちの保育環境を充実させる園庭遊びや室内環境について話し合いを深め、実践することができた。

ただ、1月に発生した新型コロナウイルスによる感染防止のため、3月から休園措置（1号認定）を余儀なくされ、卒園式以外は通常保育を行うことができずに残念な3学期となったが、その間、動画配信等、園児とつながりを持てるような活動を行った。

また、連携施設である「キッズルームふたば」「のぼら保育園たかつき」との連携も園庭や保育室などで在園児（3歳児）との交流を深めることができ、子どもたちにとって段差がないスムーズな入園を促進することができた。

今年度で5年目を終えて、経営面、保育面では安定的に運営できるようになり、当施設に子どもを入園させたいという保護者が多数あり人気の高さを維持することができた。

今年度は、現在の保育内容や保育環境を見直し、更に深化させていけるよう園内研修や他施設見学などを積極的に行い、各保育士の意識改革並びにレベルアップを図った。次のステージに踏み出す土台ができたと感じている。

次年度から0歳児（3名）の受入れを廃止し、1歳児（9名）、2歳児（10名）の19名で施設を運営することになり、それを見据えた運営を心掛けた。

また、ここ数年意識して行ってきた2歳児から3歳児へのつながりについても高槻双葉幼稚園年少児担任とキッズルームふたばの保育士間で十分な話し合いを行い、3歳児と2歳児の交流を通じて、段差解消に向けた充実した取り組みも行えた。

最後に子育て支援事業である「にこにこクラブ」「園庭開放（ピクニック含む）」「子育て相談」「たねっこクラブ」についても、子育て支援、親育ち支援の重要な位置づけにあり、今年度もそれぞれ充実した取り組みが行えた。

その中でも「にこにこクラブ」については、園児の大部分が高槻双葉幼稚園に入園することから子育て支援という観点に止まらず、高槻双葉幼稚園、キッズルームふたばとも連携しながら、園児がスムーズに幼稚園に入園ができるよう保育内容についても再構築していく必要がある。

新入園児を増やすためにも子育て支援、親育ち支援に更に力を入れる必要がある。

◎学校法人運営について

今年度は「幼稚園部門」の収入において、学生生徒等納付金収入が園児減（11名減）と新型コロナウイルスによる休園措置のため1号認定児の特定保育料（3月分）の徴収を行わなかったことにより昨年度より減額となった。

また、補助金収入については、昨年度より約380万円増額したが、園児減と新型コロナウイルスのために補助活動収入が約330万円減少した。

短期で収束すると思っていた新型コロナウイルスが令和2年度も継続して蔓延拡大しているため、令和2年度からはそれぞれの経費について一部固定費の徴収を行う。また、今年度はスクールバスの購入等、基本金組入額が約2,616万円と突出したため、当年度収支差額が▲2,164万円の赤字となった。

基本金組入前の収支差額は452万円で昨年度は1,183万円だったので、▲730万円となった。この減少は修繕費と減価償却費が増加したことによるものである。

また、「小規模保育事業部門（キッズルームふたば）」においては、補助金収入が昨年度より約 200 万円増加したが、人件費並びに諸経費の増加により、収支差額が昨年度より約 170 万円減少して 681 万円となった。

「学校法人部門」についても「にこにこクラブ」の園児数が減少したことにより、人件費と諸経費が保育料収入を上回ったため収支差額が▲42 万円となった。

今年度は学園全体として、全ての部門で収支差額が減少していることと次年度繰越支払資金が 18,648 万円となり前年度から▲1,302 万円の減額となった。

次年度は更に園児数が減少している状況の中、園児獲得による収入増と経費節減に努めることが重要となる。

次にここ数年問題となっていた人材確保については、求人広報活動や処遇改善の手立てが実を結び、正規職員、準職員（中途採用含む）、パート職員（中途採用）の採用について一定の確保ができたが、研修、研究を通じて人材育成を行い、保護者や地域に対して園の教育や子育て支援機能をしっかりと発信することで、園児獲得につなげていく必要がある。